

平成19年度 神戸大学技術職員研修(集合研修)日程表

平成19年9月～平成20年3月

総合テーマ:「環境と共生」

◆全体研修	9:00～ 9:40	9:45～ 10:00	10:00～ 10:45		11:00～ 12:00		13:00～ 14:00		14:15～ 15:15		15:30～ 17:15
9月7日(金) (於: 嵐川記念学術交流会館)	受付	開講式	「講話」 理事・事務局長 - 大田和典 幸	休憩	「講義1」 『地球環境と人類の進化』 自然科学系先端総合研究棟 内地球環境教育研究センター - 教授 兵頭 政幸	休憩	「講義2」 『建築と環境共生』 工学研究科・教授 重村 カ	休憩	「講義3」 『コアラに見る腸内細菌との共生』 農学研究科・教授 大澤 朗	休憩	「業務・技術報告」 5名×(発表: 15分、 質疑5分) 工(大槻)、海(小川)、医(鉢 田)、食(正木)、他

◆分野別研修		
9月19日(水)	コース① 医学分野 「神経解剖学の基礎～脳の肉眼解剖学観察」	崎浜技術員・蘇技術専門職員 (医学系研究科)
	コース② 工学分野 「災害の防災に向けて」 (施設見学) 兵庫耐震工学研究センター (E-Defense) [三木市] 人と防災未来センター [HAT神戸]	(工学研究科)
	コース③ 海事分野 「産業の現状とこれから」 (講義: ①嵐岡准教授、②岡村准教授、③神戸市出前講義、④上田教授 [環境管理センター])	(海事科学研究科)
9月20日(木)	コース④ 工学分野 「PICマイコンを使用した信号制御技術」	伊地知・菊田技術専門職員、道脇技術専門員 (工学研究科)
	コース⑤ 工学分野 「ものづくり講座」	大槻技術専門職員 (工学研究科)
	コース⑥ 医学分野 「脳の情報通信と未来環境を学ぶ」 (施設見学) 情報通信研究機構未来ITC研究センター [神戸市西区] ころべ環境未来館 [神戸市西区]	(医学系研究科)
9月21日(金)	コース③ 海事分野 「産業の現状とこれから」 (施設見学) 松下電器産業関連施設 [守口市] 国土交通省近畿地方整備局神戸港湾事務所 (神戸市中央区)	(海事科学研究科)
	コース④ 工学分野 「PICマイコンを使用した信号制御技術」	伊地知技術専門職員・菊田技術専門職員、道脇技術専門員 (工学研究科)
	コース⑦ 理学分野 「午前『鉱物の炎色反応』/午後『化学分野における機器分析について』」	三軒技術専門職員・古家技術員 (理学研究科)
10月12日(金)	コース⑧ 農学分野 「他府県産和牛と兵庫県産和牛の能力調査」 (施設見学) 全国和牛比較能力共進会 [鳥取県米子市]	(農学研究科)
12月頃	コース⑨ 農学分野 「農産物の動向調査」 (施設見学) 神戸市中央卸売市場 [神戸市]	(農学研究科)
12月頃	コース⑩ 農学分野 「二十世紀ナシの栽培方法と利用方法の調査」 (施設見学) 鳥取二十世紀記念館 [鳥取県倉吉市]	(農学研究科)
H20.2月下旬 ～3月上旬の1日	コース⑪ 農学分野 「集合研修(内容未定)」	(農学研究科)



⑤工学分野『ものづくり講座』  
工作技術センター（機械工場）／同左  
(7名)

「ものづくり」が見直されている昨今、教育・研究支援に携わる者にとって、  
基礎的な工作機械の取り扱いができることは、必須技能と言っても過言では  
ない。そこで本コースでは、初学者のために基本的な機械加工（主に旋盤）  
を行う。

【工学研究科大機械技術専門職員】

- ・作業着は用意しています。
- ・ズボンは作業に適した長ズボンを着用。
- ・履物は作業に適したもの、スリッパ等は不可。

⑥医学分野（施設見学）  
『脳の情報通信と未来環境を学ぶ』  
本部事務局前／独立行政法人情報通信研究機構未  
来ICT研究センター（神戸市）  
こうべ環境未来館（神戸市）  
(13名)

（未来ICT研究センター）  
脳が行う高度な情報処理、環境変化に対する応答能力を人工応用する技術  
内容について学ぶ。特にfMRI等の脳内活動計測技術を用いた脳の可塑性に関  
する研究の先端を知る。

（こうべ環境未来館）  
地球温暖化防止とごみの減量・資源化（3R）に関する情報を収集し、未  
来に引き継げる地球環境について理解する。

【医学部 薛 技術専門職員】

・事前に各施設のウェブページにより、施設の概要等を把握してください。  
・コース①を受講しない方は、あらかじめコース別資料集の「神経解剖学  
の基礎～脳の肉眼解剖学観察」について目を通しておいてください。

⑦理学分野『鉱物の炎色反応』  
『化学分野における機器分析について』  
理学部C-109／同左及びA-234  
(6名)

（鉱物の炎色反応）  
鉱物と試薬の炎色反応を肉眼、コバルトガラス、直視分光器で観察し、炎  
色反応の比較から、鉱物中に存在する元素の種類を推定する。白熱電球、蛍  
光灯、太陽光それぞれのスペクトルを観察し、考察する。

（化学分野における機器分析について）  
化学分野で様々な物質の同定や分析に用いられている元素分析について、  
実際に装置を稼働させて、その仕組み等を理解する。元素分析とは化合物中  
に含まれる炭素、水素、窒素の含有比率を調べる分析のことである。実際に  
目で見る事のできない物質の構造をどのように調べるかを学ぶ。

【理学研究科三軒技術専門職員、同古家技術員】

⑧農学分野（施設見学）  
『他府県産和牛と兵庫県産和牛の能力調査』  
現地集合／全国和牛比較能力共進会（米子市）  
(6名)

兵庫県産和牛の改良に寄与し得る遺伝的改良技術及び飼養管理技術につい  
ての理解を深めるため、他府県産和牛の産肉能力及び繁殖能力等の調査を行  
う。

【農学研究科附属食資源教育研究センター本多助教】

コース番号、分野名、『テーマ』 集合場所／実施場所（参加人数）	内 容 の 概 要 【 担 当 講 師 】
⑩農学分野（施設見学） 『農生産物の動向調査』 現地集合／神戸市中央卸売市場（神戸市） （6名）	市場における「ミニ野菜」及び「農薬のトレーサビリティ」に関する動向調査を行う。 【農学研究科附属食資源教育研究センター保坂教授】
⑪農学分野（施設見学） 『二十世紀ナシの栽培方法と利用方法の調査』 現地集合／鳥取二十世紀梨記念館（倉吉市） （5名）	鳥取県が主産地であり栽培方法に特色のある二十世紀梨の管理技術を学ぶ。 また、二十世紀梨関連の加工食品について視察を行う。 【農学研究科附属食資源教育研究センター片山講師】
⑫農学分野『集合研修』 農学研究科附属食資源教育研究センター／同左 （13名）	内容未定